

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3471503643		
法人名	特定非営利活動法人 あしすと		
事業所名	グループホーム 愛の郷 駅家		
所在地	広島県福山市法成寺2730番地		
自己評価作成日	平成29年11月06日(日)	評価結果市町村受理日	平成30年5月15日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.hiroshima-fukushi.net/kohyo/index.html
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 あしすと		
所在地	広島県福山市平成台31-34		
訪問調査日	平成30年2月2日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

静かな落ち着いた環境の中で入居者様、職員ともにのんびりと一日過ごしています。鳥の音が聞こえてきたり、小学校の校内放送が風と共に聞こえてくることもあります。お祭りのときには、鐘がなり、お神輿が施設の横を通ります。にぎやかで、楽しい声が聞こえます。小さな畑があり、キュウリ、ナス、トマト、カボチャなどの野菜ができます。入居者様と、一緒に収穫を喜びます。「このカボチャは大きいね」と、できた野菜を、しばらく飾って観賞します。料理に出ると「よくできて美味しかった」とほめてくれます。自然を大切に提供しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の周囲には田畑や山が広がり、利用者は居ながらにして四季の移ろいを感じ、穏やかに過ごしている。事業所の優れている点は、音楽ボランティアの訪問が定期的になり、地域の人の協力を得ていること。事業所の畑から野菜の収穫、調理の下ごしらえ・片付け、洗濯物干し・たたむなどを日常的に職員が利用者と共にやり、寄り添ってケアをしていること。工夫している点では、昼間の入浴を拒否する人に、利用者の状況を見ながら夜に入浴したり、足浴・手浴などで睡眠を促していること。また、食事について、利用者の希望を受け入れメニュー変更などで対応していることなどがある。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	特定非営利活動法人 あしすと	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	おもてなしが出来る理念をみんなで考え共有し、声に出している。	事業所の理念は、昨年、職員が作成し各ユニットの目につきやすいところに掲示している。朝礼やミーティングで唱和、共有し、実践に活かしている。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	多機能ホームと合同にての草刈り、清掃、回覧板などの共有の交流をしている。	町内会に加入し、清掃行事などに職員が参加している。エレクtoon演奏(1回/月)に加え種々の楽器演奏のボランティアがあり、中学生のチャレンジウィーク、事業所の夏祭りに近所の人に参加するなど、日常的に交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	施設での行事(祭り、文化祭)への参加への声かけや、ポスターでのお知らせをおこなっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	意見交換、意見をとり入れ、向上につながるよう取り組む努力をしている。	2カ月に1回開催し、北部支所介護保険課、民生委員、町内会長、町内組委員、地域包括などが参加し、事業所の状況報告と意見交換などを行っている。今年度は会議をもとに、消防署と消防団が来て防災訓練を行った。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営会議に参加していただき、意見交換をしている。	運営推進会議には毎回、北部支所介護保険課の参加があるので、状況を報告し、相談している。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	見守り・声かけにより、拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアについて、年2回勉強会を行い、どのようなことが拘束になるのか学習している。実践の場で管理者やリーダーから、また職員同士でも声を掛け合い、拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修・勉強会に参加している。また、「虐待の芽チェックリスト」を、二ヶ月おきに職員みんなで、検討している。声を出し合い、防止につとめている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	研修があれば、参加し学ぶとともに、活用できるように努力に努める。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約に対して文章を理解していただけるよう読み上げ疑問があれば、随時疑問を解決していくよう努めている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議に参加し、意見を頂く、また、家族会を行い家族の意見を頂き、参考にしスタッフに伝え、行事に生かす努力をしている。	家族の面会時に聴いた希望や意見を、職員が共有して運営に反映している。また利用者からは帰宅や買い物・食べたいものなどの希望があり、メニュー変更は速やかに、他は家族と相談しながら対応している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	ミーティング・申し送りにて、意見交換を行い、気付きを相談し、まず行う。そして、結果を報告し話し合う。	職員の意見は活発に出、意見交換・検討し、行ってみて、結果から話し合うことを日常的に行っている。活動低下・認知機能低下した利用者には、動物のタペストリーを壁に掲示して回復した事例もあった。現在、畳生活の利用者をベッドに移行することについて検討中である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の意見を取り入れ、環境づくりに努める。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修時間を作り、発表をする場を設ける。コミュニケーション作りに努め、問題があればOJTシートにて解決に努める。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	勉強会への声かけ・交流会への情報提供をしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の希望・困っている事等の情報収集・様子観察をもとにコミュニケーションに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の思い気持ちを聞き取り、少しずつ信頼関係を作るよう努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	今望んでいることは何か、何が必要とされているのかを、見出し・出来る事は何かを検討し、出来る事への対応への努力に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	出来る事への声かけを行い、手伝っただけのことへの声かけなど、お互いの立場を理解し合う事に努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時・手紙等にて、状況の説明・問題点があれば伝え解決が出来るよう努めている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人の訴えを聞き入れ、家族・スタッフと共に、どう支援できるかを、話し合い対応できるよう努めている。	利用者の訴えをもとに、職員と家族と協力して聞き取り・相談をし、帰宅や墓参をしている。知り合いや姉妹の面会時には、職員が湯茶の接待をし、会話の支援をしている。携帯電話を持っている人には、常に充電して電話できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが入居者の中に入り声をかけ、コミュニケーション作りを支援できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	困ったことがあれば、いつでも相談に乗ることが出来ると伝え、行事などがあれば、案内を伝える努力を行う。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	思いや、意向を聞き取り、申し送り・記録に書き残し、モニタリングにて話し合い、把握するよう努めている。	食事やハンドマッサージの時などに発する利用者の思いや意向について、申し送りや記録で職員が共有し、本人本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族の面会時、現在・過去などを話す努力をしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	声かけなどによるコミュニケーションに努め、変化等のきずきに注意する努力を行う。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	日々の申し送り・介護記録・担当者からの家族へのお手紙などにより現状の気づきに近づく努力が出来ている。また、話し合いなどにより、介護計画作成への道が出来る努力に努めている。	アセスメントシートをもとにケアマネージャーが暫定プランを作成し、1カ月くらいで担当者中心に情報収集、職員でカンファレンスし介護計画を作成している。以後状況変化時または、3カ月ごとにモニタリング、6か月ごとに計画を見直している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	気づきに対して、ミーティング・日々の記録・家族様へのお手紙を提供し、計画の見直し・再度の気づきに対しての見直しにいかせている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	申し送り・ミーティング等により、求めている事への把握をおこない、支援できるよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	中学生のチャレンジウイーク・ボランティア様による音楽療法など提供支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	体調の変化・いつもと違うことを、電話・訪問診療日などに、相談指示を仰いでいる。	利用者・家族の希望のかかりつけ医としている。受診は可能な限り職員が同行し、家族と協力して行っている。往診は2週間に1回あり、状態変化時には電話で相談し、夜間対応の体制もとれている。歯科往診も必要時行われている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	異常時の情報提供・特変時の相談・日々の状態の申し送りを、記録に残し、担当ドクターと協力をしドクターより指示を受け対応・記録をおこなっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	広報時情報交換をおこない地域連携室とのコミュニケーション作りに努めている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設で出来る事、家族が出来る事を、相談をおこないながら支援している。	入居時に説明し同意を得ているが、実際に重度化した時には、改めて医師・家族・職員で相談し、対応している。事業所で看取りをしており、職員はマニュアルをもとに勉強会をし、実施後の反省会をしている。	看取り事例の振り返りを記録に残し、職員がさらなるケアの向上に役立てることを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会・研修に参加をし、個々での自主勉強をおこなっている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	多機能と協力し、声かけ回覧板を作成していただき、年に2回の避難訓練・火災訓練をしている。また、地域の避難訓練にもスタッフが参加をしている。	防災訓練は年2回、昼夜想定で実施している。今年度は、内1回は消防署と消防団が来て実施した。消火訓練は全職員が体験している。地震・水害は市の一斉訓練に職員が参加した。水・食料の備蓄については多機能と協力して行っている。	居室の筆筒の上の箱など、地震時に落下しないような対策を期待する。避難・消火訓練の実施後の振り返りを記録として残し、災害対策の向上につなげることを期待する。

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	コミュニケーションをとりながら、精神状態など変化の気づきを受け入れ、申し送りなどにて、不安定なことがあれば相談をし解決に向けての対応をおこなっている。	名前表示を拒否する利用者には、名前の書いてない表札を掲げ、戸を開けた時室内が見えないように配置を工夫するなど、プライバシー確保に留意している。ミーティングで話し合っ、一人ひとりに対する言葉かけに注意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	出来たことへの感謝・笑顔での声かけをしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	何をやりたいか・どうしたいかを聞き入れ、いろんな案を出し、提供への声かけをしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着ているもの・着ようとしているものへのアドバイスの支援・鏡・櫛・髭剃りなどの提供をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜の下ごしらえ・お膳拭きなど声かけをし共にしています。「お手伝いして」「ありがとう」の声かけをすることを、心がけています。	利用者は調理の下ごしらえや片付けをしている。食事の希望があれば、メニュー変更をして対応している。2月の豆ごはん・3月のひしもちチラシなど季節の行事食を取り入れている。おやつにタコ焼き・ホットケーキ・ぜんざいなど楽しみ、家族と共に外出して、お茶や食事をしている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量の記録・量の制限がある方への声かけ対応・早食いの方への声かけ対応・お粥。ミキサー食・減塩食などの対応をおこなっています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	声かけ対応・歯磨き・舌ブラシ・歯磨きテッシュ対応。歯科医による定期健診をおこなっています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	記録による状況の把握・声かけ対応をおこなっている。清潔面に対して、陰部洗浄・清拭などをおこなっている。	寝たきり状態の人以外はトイレを使用している。排泄記録によりパターンを把握し、トイレ誘導を行っている。夜間は見守りをして危険防止を行っている。身体機能維持のために、毎日ラジオ体操、足上げ、手を動かすことを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録による把握・Drによる下剤での対応を始め・薬が及ぼすであろう状況の変化に対する対応・水分・牛乳などの腸への取り組みもおこなっている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	週に2回の曜日は決めているが本人の声を聴きながら入浴日の変更をおこなうこともある。また、足浴・清拭・手浴などもおこなう。声かけにより、夜の入浴も検討している。シャワー対応を行う事もある。	週2回の入浴日は決めているが、柔軟に対応している。昼間の入浴拒否の人には、夜の入浴をして笑顔が見られたので、継続の検討をしている。手動式入浴リフトにより、できるだけ浴槽につかることができるようにし、足浴・手浴・清拭も行い、ケア時や入浴時にゆっくり会話を楽しんでいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	室内の温度に注意をし、畳・ベットでの対応・足元・枕もとのなどの上げ下ろし体転対応など状況に応じておこなっている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	Drの指示のもと、薬剤師との情報提供・内容の把握に努め、異常があれば薬剤師・Drに相談・指示をあおいでいる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	コミュニケーションをもとに、お手伝いの声かけをし職員とともにおこない、塗り絵・カラオケなどの提供・行事に取り入れることもある。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	本人の希望を家族に伝え、面会時に家族・友人などと共にドライブ・買い物・お茶のみなどにいっている。また、病院の帰りなど、買い物を一緒にし、お菓子をたべながら、お喋りや、景色を楽しんで頂いている。	事業所の前に田畑が広がり日当たりも良いので、庭に出て散歩・ベンチで日向ぼっこをしている。春には庭で花見をし、畑で野菜の収穫も行っている。家族面会時に、ドライブ・買い物・お茶に出かけたり、受診の帰りに買い物や会話を楽しんでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭のトラブルは受け入れられない為、お小遣いとして、金庫に保管・小遣い帳へ記載している。本人への内容説明はおこなっている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望により手紙・電話が出来るよう支援している。状況・状態により対応の見直しをおこなうこともある。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ソファ・ひとり机・テレビの配置など入居者の方がゆっくりと出来るよう工夫している。また、季節感を出す為に、壁画を入居者と共に作成している。	リビング・食堂は広くゆったりとしており、明るさも温度も適切に管理されている。ソファ・一人机・テレビを配置し、利用者が思い思いに過ごすことができるように工夫している。壁には、職員が制作したタペストリーや利用者と共に制作した壁画・ポランテアが作成したフクロウの飾りなど、季節感が感じられ、また楽しんでみるできるように掲示している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ひとりになりたい時には声かけ・居室への誘導対応・気の合った者への配慮は、居室への訪問・席の配置などを、声かけおこなっている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の動きやすい配置の工夫を、家族と共に話を行い決めている。体調や危険性を、伴う場合には、家族・本人に相談をし、変更を検討し、対応している。	入居前の生活通りに畳に布団の人、ベッドの人と本人の体調に合わせ、また動きやすく家具を配置するなど家族と相談して行っている。壁には、お孫さんの写真や絵など掲示して居心地良く過ごせるよう工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	毎日の着替え・私物の整理など使用する物に対して声かけを中心に対応・危なくないよう不安にならないよう本人の声を聴くことを心がけている。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	理念が確実に出来ているか今一度日々確認する事が必要。理念の意味を知る。	理念とは を自分で考える。	1日1回声に出す。	1ヶ月
2	10	家族様の声を聞くことを一番としてできているか	食事の試食・フットマッサージの体験などを声を出してみる。	体験を行い、意見箱に入れてもらう。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(別紙4(3))

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)

特定非営利活動法人 あしすと

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取り組んだ内容 (↓該当するものすべてに○印)
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他()
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他()
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他()
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他()